

2022.03

41

はる号

ブランコ

の

うさぎ

とまむし

シヨんけん



【開催報告】

令和3年度 第3回 事例検討会  
「丹後圏域における医療的ケア見を取り巻く状況と  
リハビリテーション」

令和3年度 丹後圏域地域リハビリテーション実践交流会  
お気軽サミット

令和3年度 第4回 事例検討会  
「市町の介護予防・フレイル予防事業における  
リハビリテーション専門職との連携と活用」

【今月の表紙】

京丹後市峰山町にある児童発達相談支援事業所さつき園では、お子さんの発達状況に合わせたプログラムを作り、運動遊びやことば遊びに取り組んでおられます。昨年秋から理学療法士が基本的な身体の動き（筋力）や、姿勢を整えるお手伝いをされています。

# 令和3年度 第3回 事例検討会 「丹後圏域における医療的ケア児を取り巻く状況と リハビリテーション」

日時：令和4年2月10日（木）16：30～18：30  
会場：各所属先（Web開催） 参加者：34名

## 報告「丹後管内の在宅療養児の状況」

講師：田邊文子氏（京都府丹後保健所 保健師）

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（令和3年6月11日成立）

### ◎医療的ケア児とは

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童（18歳以上の高校生等を含む。）

#### 立法の目的

- 医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加
- 医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにすることが重要な課題となっている
- ⇒医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資する
- ⇒安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与する

#### 基本理念

- 1 医療的ケア児の日常生活・社会生活を社会全体で支援
- 2 個々の医療的ケア児の状況に応じ、切れ目なく行われる支援  
医療的ケア児が医療的ケア児でない児童等と共に教育を受けられるように最大限に配慮しつつ適切に行われる教育に係る支援等
- 3 医療的ケア児でなくなった後にも配慮した支援
- 4 医療的ケア児と保護者の意思を最大限に尊重した施策
- 5 居住地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられる施策

#### 国・地方公共団体の責務

#### 保育所の設置者、 学校の設置者等の責務

医療的ケアを必要とする在宅療養児数

丹後医療圏：11人 京都府全体（京都市含む）：270人

丹後地域は、遠方の専門医療機関からの在宅移行となり、地域支援体制が不十分なまま、在宅療養がスタートするリスクがある

## 実践報告「医療的ケアを必要とする児とその家族の在宅生活の 支援から～訪問看護、訪問リハ、療育機関等との連携～」

A君を実例として、保健師・看護師・理学療法士、それぞれの立場からどういった関わり方をしているのか報告して下さいました！



野上 麻耶 氏  
（京都府丹後保健所 保健師）

保健所保健師は、急変時等の消防との連携、専門医療との連携、広域的・専門的なサービスの調整を担っています。特に、難病支援での経験の蓄積と広域的に調整サービス経験の蓄積が強みです。

#### 家族が感じておられること

- ・退院時の不安（トラブル時の対応、技術に自信がない）
- ・家族以外に預けられるところがない（急病や緊急時等）
- ・ケアの交代者がいない ・保護者同士の交流の機会が欲しい
- ・きょうだいとの関わり ・自身の就労について
- ・経済的負担 ・登校や事業所利用の時に付き添いが必要

A君自身が、安定した状態で在宅生活を送ることができる、ご家族が安心して育児を行うことができることを目標に訪問看護を行っています



奥谷 典子 氏  
(京丹後市久美浜訪問看護ステーション 看護師)



訪問リハビリテーションにおいて、A君のお母さんを笑顔にすることを目的に、起立台を作成して、立位練習を行いました

森垣 達哉 氏  
(京丹後市久美浜訪問看護ステーション 理学療法士)

A君が立てるための器具を理学療法士さんが作成！  
A君だけでなく、そのご家族のことまで考えて介入されていることに感動！



#### 課題と今後の見通し

- ・家族が望む支援と現実(制度、体制、距離・・・など)
- ・集団生活への移行(保育所、教育)
- ・きょうだい支援
- ・医療的ケア児コーディネーターの配置

#### 医療的ケア児に関わる中で感じることは？(情報交換)

- ・丹後圏域に小児リハに専門的に関われるセラピストがいるのが見えてこない
- ・保育現場に入る看護師が見つかりにくい
- ・児の状態や家庭に合わせたきめ細やかなコーディネートが必要
- ・放課後デイサービスなどつながりが希薄
- ・通院する病院が遠方。移動・検査での疲労があるなかでリハビリもとなると本人・家族共に負担が大きい
- ・レスパイトの受け入れ先がなく、あっても家族の付き添いが必要であったりと条件が厳しい
- ・関わる事例一つ一つ、資源のない中でも関係者が向き合って支援しているのが丹後の強み
- ・事例から関係者が学びや経験を共有し積上げ、地域の体制づくりへ関与していきたい

#### 多職種との連携を推進していくためにどのように活動していきたい？(研修会アンケート)

- ・医ケア児の支援は医療面だけではないため、生活全体を各専門職が把握し、役割分担、意見・情報交換を続けていきたいと思えます。
- ・遠慮無く相談し合える場があったら良いと思う。
- ・日ごろからコミュニケーションをとっていきたい

## 令和3年度 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター 丹後圏域地域リハビリテーション実践交流会 お気軽サミット

日時：令和4年3月8日（火）13：30～16：00  
会場：各所属先（WEB開催） 参加者：60名

当日は、WEB開催にてご参加を頂き、4名の講師の方々による実践報告をしていただきました。

質疑応答・ディスカッションにて、**双方向での意見交換**となり大変有意義な時間となりました。

当日不参加の方もおられましたが、次回以降に参加される方はぜひ質疑応答にもご参加ください。



### 「ケアマネジャーから見た 訪問リハビリテーションの介入について」

利用者様のケースを元に、居宅サービスのケアプラン作成をどのように行っているか説明を頂き、その後の訪問リハビリとの連携について報告していただきました。



北川 昇平 氏

総合老人福祉施設 はごろも苑 介護支援専門員

#### 実践報告のポイント

- ・ **専門的な目線から評価を行い、生活の目標を立てる！**  
客観的事実に基づくこと、目標が具体的であることが重要！
- ・ **生活の場である自宅でもトレーニングができることが大事！**  
家族と一緒に運動ができて、成功すると自信が持てるようになる！
- ・ 『**施設でもできる けど 家でもできる**』  
コロナ禍における感染症をうつさない、うつらないように！

### 「陽だまりカフェ（認知症カフェ） ～コロナ禍における活動と今後の課題～」

コロナ禍によりカフェへの参加が難しい中で、自宅のできる創作活動や転倒予防体操の指導、お手紙の郵送や電話連絡などを行っておられ、地域の見守り活動についても報告していただきました。



宇野 朋之 氏 上古 貴大 氏  
社会福祉法人 丹後福祉会 陽だまりカフェ

#### 陽だまりカフェとは…

地域住民、専門職、民生委員などが参加し、住みやすい地域づくりのためにつながりのきっかけをつくる場所！  
地域の見守り活動としても動かれています。



## 「生活期の支援～困りごとの背景としての障害～」

脳血管障害を呈した支援者様のケースを例に、本人の相談である復職、自動車運転についてどのように支援・サポートを行っているか説明を頂き、今後の課題や地域の課題について報告をしていただきました。



石田 敦雄 氏

京丹後市寄り添い支援総合サポートセンター  
自立相談支援員

### 寄り添い支援総合サポートセンターについて

- ・短期～中期（～3カ月～1年程度）のさまざまな生活課題について解決方法を一緒に考え、プランに基づいて支援。
- ・1回のプランは3カ月～半年程度、状況に応じて再プランして継続支援。プラン終了後も必要に応じてフォローアップを行う。

#### ○自立＝依存的自立

相談者が、自分の力で必要な支援につながるができるように各種社会資源への「つなぎ」と「つなぎもどし」

#### ○寄り添い支援＝伴走型支援

同じ目の高さで（福祉に詳しい友人のような存在）、同行支援、関係機関との連携

### 今後の課題、地域の課題

- ・抑制がきかない、「だめなものだめ」という認識の薄さからくる問題行動  
ソーシャルスキルトレーニング等による認知の歪みの改善ができれば…
- ・移動手段について、一人ひとりが「自分のこと」として考える  
「田舎では車がないと生活できない」は本当か？その他の手段はないか？
- ・専門的な支援を生活圏内で受けられるようになれば…  
例）脳血管障害の方が職場復帰訓練ができる

## 「リハビリ特化型デイサービスでの取り組み」

リハビリ特化型デイサービスのニーズや、機能訓練の評価方法やリスク管理、リハタイムズでの取り組み（訓練方法）について報告していただきました。



和田 武浩 氏

株式会社Lukomoco リハタイムズ  
機能訓練指導員 理学療法士

### リハビリ特化型デイサービスのニーズ

#### ・介護予防、介護サービスの入り口として

最近、歩くのがふらついたり、体力がなくなってきた。  
コロナ禍で外出することがなく、他の人との交流がない。



運動をするきっかけに！

#### ・退院後のリハビリの継続ができる

骨折や脳血管疾患などで入院、退院後のリハビリを継続できる。再転倒などの予防ができる。

#### ・機能の維持・向上をしたい

今できていることが、出来るだけ続けられるようにしよう。

### 今後の展望

- ・様々なニーズに対して、しっかりと対応できるよう体制を作っていくたい
- ・理学療法士の経験を活かしつつ、機能訓練指導員として、地域でのリハビリテーションに貢献していきたい

# 令和3年度 第4回 事例検討会 「市町の介護予防・フレイル予防事業における リハビリテーション専門職との連携と活用」

日時：令和4年3月8日（火）13：30～16：00  
会場：各所属先（WEB開催） 参加者：23名

## 実践報告

### 「綾部市におけるリハビリテーション専門職との連携について」

綾部市では、住民人口が**減少**、高齢化率が**上昇**、介護認定者数が**増加**

そこで…

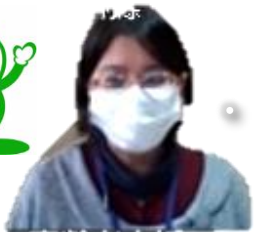
地域の活動にリハビリテーション専門職を参加・派遣

適切な運動内容や生活動作・生活  
環境の評価・助言ができる

住民の生活の充実

住民の通いの場の充実

現在はコロナ禍の中で地域の活動が減少しており、今後は高齢者サロン等通いの場へのアプローチをどのように実施していくか検討中



梅原 奈緒 氏  
綾部市役所 福祉保健部 高齢者支援課  
地域包括支援センター担当 保健師

今まで…リハビリのイメージは  
機能訓練をしている人？

リハビリ  
が関わる

日常生活の様々な動きに着目

日々の暮らしの中の困りごとが改善できる！

## 全体を通しての感想（研修会アンケート）

- ・他市町の状況等を知れてよかったです。行政に所属しているリハ職として、行政の事業等も他リハ職に伝えていくことで、地域とリハ職をより身近な関係にしていくことにつながるのではないかと感じました。
- ・よい会になりました。市町のリハビリテーションに対する理解、リハ職の生活に向けての理解も少しずつ進んできているのがわかります。
- ・本日この検討会に参加させて頂いて、今まで病院という限られた範囲でリハビリをしていたのだと改めて気が付きました。リハビリテーションに関わるセラピストの連携ももちろんですが、地域において幅広い職種の方々との連携も今後重要になってくるのではと感じました。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が丹後でも猛威をふるっており、早く収束することを願うばかりです。今年度の事業は感染症対策を優先して、WEB開催が多くなりました。移動時間が減って、研修にも参加しやすくなったのではと感じる一方で、やはりディスカッションは対面じゃないと…感じることも多くあります。早く感染症対策を気にせずに、目的に合わせて対面とWEBのいいとこどりができる日々が来て欲しいものです。（Y.S）

編集/発行：丹後圏域地域リハビリテーション支援センター（公益財団法人 丹後中央病院）

連絡先：TEL0772-62-8301 FAX0772-62-8302 e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

「丹後地域リハ」で検索！

